

9条も96条も変えてはならぬ

ならぬものはならぬ

今度の参議院選挙で、自民党は「憲法改正」を公約に掲げています。昨年の衆議院選挙でも公約していましたが、選挙公報や政見放送では一切触れず、選挙が終わってからそれを言い出すという卑怯な戦術をとりました。

改憲のねらいは国防軍設置

自民党の改憲案は多くの条項にわたっていますが、最大のねらいは9条を改定して「国防軍」をつくることです。国防軍は自衛隊と違って交戦権を持ち、海外で戦争することが可能となります。早くから自民党は集団的自衛権を主張してきました。「日本(軍)が攻撃されなくても、同盟国アメリカ(軍)が攻撃された時は、アメリカと一緒に戦争する」というもので、9条改憲でそれが解禁となります。海外で戦争すれば、当然日本の青年の戦死が発生します。その結果、入隊志願者が激減するため軍の維持が困難となり、徴兵制に移行せざるをえなくなるでしょう。

軍事大国化で大増税が来る

国家財政の面でも深刻な事態が予想されます。海外での戦争を想定した最新鋭兵器の開発・調達には莫大な予算を必要とします。国の借金が1000

兆円もあって、地震・津波などの自然災害から国民の生命財産を守る予算に事欠いているのに、軍備増強のための大増税が許せるのでしょうか。

一方、国防軍の設置は、先の大戦で多大な被害を与えたアジア諸国の不信と不安を招き、この地域の平和に大きな影を落とすこととなります。

国民の“知る権利”を制限

自民党の改憲案では、国防軍と同時に軍事裁判所を設置するとか、軍事機密保持のための法律をつくるなどと言っています。国民の“知る権利”を奪い戦争に駆り立てた暗い時代を思い起こさせます。

ハードル低くして9条改憲へ

自民党は、改憲を96条から着手したいと言っています。国会で改憲発議をするためには衆参両院で「3分の2以上の賛成が必要」となっているのを、一般法律と同じ「2分の1以上」に緩和しようとするものです。これでは、その時の政権の都合のよいように改憲が行われるおそれが生じて、最高法規としての憲法の土台が揺らぎます。改憲派の中からさえ、96条改定は「裏口入学」のようなずるい手段だと、異論が出ています。

6月の署名行動

【カッコは前月】

| | 行動回数 | 署名数 | 累計署名 |
|-------|---------|----------|--------|
| 高蔵寺駅頭 | 13 (14) | 30 (54) | 8,262 |
| スーパー前 | 2 (4) | 3 (31) | 2,574 |
| その他 | 1 (1) | 10 (17) | 1,697 |
| 合計 | 16 (19) | 43 (102) | 12,533 |

6月は、16回の行動で署名数は43人でした。署名数は前月の半数を下回り、1月以来の最低でした。5月の好調が一転した理由はよくわかりませんが、昨年も6月は不調でしたので、梅雨という季節的要因があるのかもしれませんが。とくに、雨の影響を受けるスーパー前(毎週金曜日)は、事前の中止が2回、途中で中止が1回ありました。「その他」は憲法連絡会が清水屋前で行った9日の共同行動で、署名数は革新懇の集約分です。

カンパは、6人から2,150円が寄せられました。

平和への祈り アート展

絵画・書・写真・彫刻・絵手紙など公募作品

併催 中尾忠明 風刺マンガ展
(那須良輔風刺漫画大賞受賞、春日井市坂下町在住)

7月17日(水)～21日(日)

10:00～17:00 (21日は15:00まで)

文化フォーラム春日井
ギャラリー

主催 春日井9条の会 (85-4877)

後援 春日井市、春日井市教育委員会
中日新聞社